

宮沢賢治 おんがくワンダーランド

第一部

賢治がつくった歌・うたった歌

星めぐりの歌 / 応援歌 / 角礫行進歌 / 弓のごとくほか

バス：渡邊寛智、ソプラノ：尾前加寿子

合唱：合唱団「優喜」、鳥取男声合唱団エルダーブラザーズ

ピアノ：渡邊芳恵、綿口裕美子

第二部

新倉健作曲 音の絵本「雪渡り」

朗読：はまべゆかり

バリトン：吉田章一、ソプラノ：尾前加寿子

クラリネット：杉山清香、ヴァイオリン：湯浅いづみ

ヴィオラ：棚橋恭子、チェロ：須々木竜紀

ピアノ：渡邊芳恵



第三部

新倉健作曲 オペラ「ポラーノの広場」より 演奏会形式

キャスト

ファゼーロ：寺内智子、キュースト：吉田章一、ミーロ：松田千絵

山猫博士：西岡千秋、テモ：山田康之、給士：北村保史

合唱

鳥取女声合唱団、合唱団「優喜」、鳥取男声合唱団エルダーブラザーズ

演奏

弦楽合奏：アンサンブル・オルニス

フルート：安藤由美子、オーボエ：古川雅彦、クラリネット：杉山清香

ファゴット：橋本美紀子、パーカッション：福井蘭、ピアノ：瀬川則子

指揮：新倉健、演出：中村敬一



平成29年度 鳥取県文化功労賞受賞記念コンサートによせて

私の代表作の一つに、2002年に倉吉で初演したオペラ「ポラーノの広場」という作品があります。私がこのオペラの作曲を思い立ったきっかけは、その10年以上前に開催した「賢治がつくった歌・うたった歌」という文字通り宮沢賢治が作曲した歌や愛唱した歌を集めた、弦楽四重奏と歌による小さなコンサートでした。その中で賢治が花巻の農学校で生徒と一緒に上演した演劇「ポラーノの広場」に使われた3曲を歌っていただきました。それがとても楽しいもので

したので、「ポラーノの広場」を発展させた小説「ポラーノの広場」をオペラ化しようと決意したのでした。

この度、鳥取県文化功労賞を受賞することになり、受賞記念コンサートを県が開いてくださるというお話を頂いたときに、真っ先に思い当たったのが、私がオペラ「ポラーノの広場」を作曲する原点となった「賢治がつくった歌・うたった歌」というこのコンサートを、現在の私のスタンスでもう一度聞き、多くの方に聴いていただきたいということでした。

2017年11月 新倉健

略歴

新倉 健（にいくら けん） 作曲家



昭和26年 神奈川県茅ヶ崎市に生まれる

昭和51年 武蔵野音楽大学大学院卒業

昭和51年 神奈川県立山北高等学校音楽教諭、鳥取大学教育学部助手（昭和56年）、助教授を経て同学部教授（平成7年）

平成10年 鳥取オペラ協会理事、副会長

平成11年 第17回国民文化祭鳥取県実行委員会企画委員、同事業別委員会（オペラ）委員

平成13年 第17回国民文化祭鳥取イメージソング選定委員会委員長

平成16年 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会委員、東部地区企画運営委員長
第17回全国生涯学習フェスティバル実行委員会企画委員会委員

平成17年 財団法人鳥取県文化振興財団理事長

平成17年 国立大学法人鳥取大学地域学部附属芸術文化センター長
～27年

平成29年 鳥取大学名誉教授

宮沢賢治について

宮沢 賢治（みやざわ けんじ）

1896年8月27日生

1933年9月21日没

詩人、童話作家

岩手県花巻市出身。農民生活に根ざした創作を行い、日本文学に特異な世界を切り開いた。

代表作（）内は初出版刊行年

『やまなし』（1923）

『注文の多い料理店』（1924）

『ゼロ弾きのゴーシュ』（1934）

『風の又三郎』（1934）

『よだかの星』（1934）

『銀河鉄道の夜』（1934）

